

〔別紙1〕

議案1： 図書館サポートフォーラムの今後について

代表幹事 山崎 久道

1. 図書館サポートフォーラムは、1996年に、故末吉哲郎さんと故大高利夫さんの発案によって誕生しました。その後、同フォーラムの主要な事業として、1999年から「図書館サポートフォーラム賞」を開始しました。

これまでに表彰した方は、延べ70人(組)以上に達しています。実に多様な方々が受賞されました。

2. 「図書館サポートフォーラム賞」は、以下の3点を表彰の基準として運営されてきました。

1) 図書館等で目立たないながらも着実に専門的な業績を上げて図書館等の活動に貢献された方

〈例1〉特定分野の文献目録をコツコツ作成されてまとめあげた方

〈例2〉ユニークな索引手法を開発された方

〈例3〉レファレンスなどの活動でユニークな業績を挙げられた方

2) 図書館についての草の根協力などで、海外と日本の架け橋となっておられる方

〈例1〉途上国での図書館作りに努力された方

〈例2〉途上国での読書推進活動に尽力された方

〈例3〉日本の出版物の海外への提供の改善に努力された方

3) ともすれば目立たない図書館等の活動の意義を自ら体现し、また社会に対して訴える活動をされた方

〈例1〉新聞紙上などで図書館、文書館などの社会的意義を発表された方

〈例2〉図書館活動の社会的認知に貢献された方

〈例3〉図書の保存に尽力された方

(出所: 図書館サポートフォーラムホームページ)

なお、表彰対象は、原則として個人となっています。

3. このコンセプトは、図書館活動の本質をついたものであり、発足以来 25 回にわたる表彰において、ゆるぎなく継承されて今日に至っています。

図書館に対する表彰は、昨今他の団体でも行われていますが、上記のような観点からの表彰は、類を見ないものと思われます。この間の幹事や会員みなさまのご尽力には、厚く御礼申し上げます。

4. 特筆すべきは、この間、日外アソシエーツ株式会社が事務局として、支援と事務処理を献身的に行ってくださってきたことで、ここに深く感謝申し上げます。

資金的な面では、立派な表彰楯を製作くださり、表彰式を立派な会場で開催してくださいました。事務処理面では、募集、広報、表彰委員会の開催手配、被推薦者についての資料準備、表彰式の設定・運営などの煩瑣な業務を、着実にこなしてくださいました。

このようなことで、四半世紀も表彰活動が続けてくることができました。

5. ただ、みなさまもご承知のように、ここに来て、最近では、図書館をめぐる環境が、IT の発達や AI の導入によって、大きく変わりつつあります。

そこにおいて、今後、図書館人や図書館の表彰を続けるとすれば、上記のコンセプトの徹底的な再検討と再構成が必須と思われます。

6. そのためには、図書館サポートフォーラムの構成や内容も含めて解党的な出直しが必要だと思われます。しかしながら、現在のフォーラムの状況を見ると、役員構成や事務体制から見て残念ながらそれを行うには必ずしも適切ではないと思います。

7. より根本的な事情もあります。日外アソシエーツにご支援いただいた背後には、創業者の大高さんをはじめとする日外アソシエーツのみなさんの書誌や索引の有用性やその意義を社会に示すという高らかな理想があったのだと推測しています。

事実、フォーラム賞表彰者を見ると、書誌や索引をコツコツと作ってこられた方が多数おられます。まことに僭越ながら、これらの方々は、図書館サポートフォーラム賞でこそ、表彰されたのだと考えられます。そうした方々を顕彰させていただけたのは、図書館サポートフォーラムの誇りです。

8. 前述したように、最近では、図書館の運営の焦点も IT の活用や建築計画などに移りつつあるように思います。この点は、図書館サポートフォーラム賞のコンセプトとやや、ずれてきているように思われます。

9. そこで、まことに心残りではありますが、25 回表彰を機に、図書館サポートフォーラム、および図書館サポートフォーラム賞を閉じさせていただくことが適当かと存じ、ご提案させていただきます。

何事も引き際が大事だと申します。

特に 25 回の節目で一旦幕を閉じるのが時宜を得ているとして、その歴史と受賞者の業績と功績を顕彰して、本会の有終の美を飾る掉尾の受賞の式典を開くことを併せて提案します。

この賞が、社会的に評価されているうちにその使命を全うして終わりたいと思います。

まことに苦渋の決断であり、みなさまには唐突の感もおありかと思いますが、諸般の事情を、さまざまに考え抜いたうえでの決断です。皆様におかれましては、ご賢察のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

これまでのご協力、まことにありがとうございました。

以上